

越前町

議会だより



がんばれ!

宮崎小学校校内体育大会

【主な内容】

Contents

- 9月定例会報告 2～5
- 一般質問に5人登壇 5～7
- 25年度各会計を審査 8～9
- ボーイスカウト丹生第3団、がんばってます 10



ECHIZEN GIKAI DAYORI

発行／越前町議会 発行責任者／議長 安井賢二 編集／議会広報特別委員会
〒916-0192 福井県丹生郡越前町西田中 13-5-1
TEL (0778) 34-8712・(0778) 34-8726 メールアドレス／gikai@town.echizen.lg.jp

2014.11.4

vol.38

定例会報告

9月定例会は、9月17日～26日の会期で開催しました。条例案・補正予算案を可決し、平成25年度一般会計、各特別会計・事業会計の決算を認定しました。

条例

- 「越前町保育の必要性の認定に関する条例」
- 「越前町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例」

- 「越前町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例」
- 「越前町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例」

昨年8月に制定された「子ども・子育て支援法」に関連して、4条例の制定を可決しました。

目的は

- ①幼稚園と保育所のいいところをひとつにした、「認定こども園」の普及を図ります。

- ②保育の場を増やし、待機児童を減らして子育てしやすい、働きやすい町

こんなことを審議し、決めました

にします。

- ③幼児期の学校教育や地域の様々な子育て支援の拡充や質の向上を進めます。

- ④子どもが減っている地域の子育ても支援します。

補正予算

老人福祉一般事業

◆補正予算額21万円

ねんりんピックに参加する人へ補助金を交付します。

●補助金をもらうための手続きが煩雑だと聞いている。簡単にできないか。

●答 補助金の交付要綱に基づいて交付しているが、なるべく煩雑にならないように検討していく。

朝日地区統合保育所建設事業

◆補正予算額2千97万6千円

朝日地区の中央保育所と北保育所を一つに統合するための、地質調査委託

料・建設工事設計委託料です。

朝日児童センター建設事業

◆補正予算額658万2千円

朝日児童館を移転して建設するための建設工事設計委託料です。

予防接種事業

◆補正予算額535万9千円

高齢者を対象とした肺炎球菌予防接種費用の一部を助成します。(接種費用7,800円のうち3,800円助成) 幼児を対象とした水痘予防接種費用を全額助成します。



越前焼活性化対策事業

◆補正予算額822万2千円

福井県が実施する越前古窯拠点施設整備のための越前陶芸村陶房の解体の設計委託料と工事費です。



解体する越前陶芸村陶房

道の駅「越前」整備事業

◆補正予算額294万円

道の駅「越前」のオープン(11月15日)に併せたPR番組制作放送など広告料です。BS朝日(全国放送)や福井放送で放映します。

●問 約300万円をかけてのPRだが、どれくらいの効果があると見込んでいるのか。

●答 BS朝日の視聴率は約8%。放映後もPR映像として利用し、効果を上げていきたい。

観光施設管理運営事業

◆補正予算額1千62万8千円

国民宿舎かれい崎荘解体工事設計委託料と泰澄の杜の冷暖房機修繕工事費です。

問 業務用のエアコンはひとつ故障すると、全部が使えなくなる。個別型のエアコンにしてはどうか。

答 設置費用や維持管理費も考慮し、個別型を検討する。

県単補助急傾斜地崩壊対策事業

◆補正予算額600万円

梅浦地区で急傾斜地崩壊対策工事を実施します。



急傾斜地崩壊対策工事実施箇所

消防防災施設設備整備事業

◆補正予算額238万6千円

福井県が行う天王川改修工事に伴い消防水防倉庫を解体し、新たに拠点避難施設である朝日中学校に整備します。



解体する消防水防倉庫

公共下水道施設管理事業

◆補正予算額1千437万6千円

朝日浄化センターの消化槽用蒸気配管と織田浄化センターの遠心脱水機を修繕します。

その他

公の施設の

指定管理者の指定

について

●公立保育所について、民間の能力や手法を活かして更なる保育サービスの充実と効果的な保育所運営のため、指定管理者に指定しました。



織田浄化センター

町立保育所名	指定管理者	指定管理期間
陶の谷保育所	社会福祉法人四ヶ浦保育園	5年
城崎南保育所	社会福祉法人慈攝会	1年
織田保育所	社会福祉法人四ヶ浦保育園	5年



問 城崎南保育所だけが指定管理期間が1年、園児数が少ないからそうなのではないか。
地区割で通う保育園を決められないのか。

答 園児が少なくなっているのは、城崎南保育所は乳児保育ができないので、他の保育園に通うようになる。また、措置制度ではなくなったので、保護者が保育所を自由に選択できるようになっている。

●道の駅「越前」の効果的、効率的な運営のため、一般社団法人越前町公共施設管理公社を指定管理者に指定しました。

賛成全員で
可決

社会福祉法人福井県聴覚障がい者協会から、国に対し手話言語法制定を求める意見書を提出してほしいとの請願がありました。

このことについては、議会としても重要な課題であると捉え、全会一致で意見書を可決し、国に対し手話言語法（仮称）の制定を求めることとしました。

以下にその意見書の全文を掲載します。

※本会議最終日、聴覚障がい者協会の方が傍聴に来られましたので、手話通訳が行われました。

手話言語法制定を求める意見書（要旨）

意見書

手話とは、日本語を音声ではなく手や指、体などの動きや顔の表情を使う独自の語彙や文法体系を持つ言語である。手話を使う者にとって、聞こえる人たちの音声言語と同様に、大切な情報獲得とコミュニケーションの手段として守られてきた。

しかしながら、ろう学校では手話は禁止され、社会では手話を使うことで差別されてきた長い歴史があった。

今年1月20日、国連に障害者権利条約の批准書を提出し、日本もようやく140番目の締約国となった。障害者権利条約には、「手話は言語」であることが明記されている。障害者権利条約の批准に向けて日本政府は国内法の整備を進め、平成23

年8月に成立した「改正障害者基本法」では「全て障害者は、可能な限り、言語（手話を含む。）その他の意思疎通のための手段についての選択の機会が保障される」と定められた。

また、同法第22条では、国、地方公共団体に対して情報保障施策を義務づけており、手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、きこえない子ども、大人ともに手話を身に付け、手話で学べ、自由に手話が使え、更には手話を言語として普及、研究することができ環境整備を国として実現することが必要であると考えます。

よって本町議会は、政府と国会が次の事項を講ずるよう強く要望する。

1. 手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、きこえない子ども・大人ともに手話を身に付け、手

話で学べ、自由に手話が使え、更には手話を言語として普及、研究することができ環境整備を目的とした「手話言語法（仮称）」を制定すること。

提出先

内閣総理大臣・総務大臣
文部科学大臣・厚生労働大臣
衆議院議長・参議院議長



手話通訳をしています



議会を傍聴する聴覚障がい者協会の方々

議 案 名	
議案第81号	平成26年度越前町上水道事業会計補正予算(第2号)
議案第82号	平成25年度越前町一般会計歳入歳出決算認定について
議案第83号	平成25年度越前町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第84号	平成25年度越前町介護保険事業特別会計(保険事業勘定・介護サービス事業勘定)歳入歳出決算認定について
議案第85号	平成25年度越前町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第86号	平成25年度越前町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第87号	平成25年度越前町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第88号	平成25年度越前町集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について

議 案 名	
議案第89号	平成25年度越前町温泉事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第90号	平成25年度越前町農林漁業体験実習館事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第91号	平成25年度越前町宅地造成事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第92号	平成25年度越前町土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第93号	平成25年度越前町上水道事業会計決算認定について
議案第94号	平成25年度越前町国民健康保険病院事業会計決算認定について
議案第95号	人権擁護委員候補者の推薦について
議案第96号	人権擁護委員候補者の推薦について
発議第1号	手話言語法制定を求める意見書の提出について

いっぱん質問

町政を問う！

一般質問では、議員が住民の代表として、行財政全般にわたり、町当局の施策を問いただします。9月議会定例会では5人の議員が、福祉、観光、まちづくりなど多岐にわたり質問をしました。



吉村 春男 議員

吉村

外国人技能実習制度の実習期間が3年から5年に延長される。越前町の漁業を将来的にわたり維持するためには、この制度を適正かつ安定的に運用することが大切である。

町として実習生が健康で文化的な生活が送れるよう支援できないか。また、受け入れ側の事業者も交通手段や住居の確保に苦慮している。具体的な支援策はないか。

町長

この制度は人材育成を目的とした国

の重要な国際貢献の一つであるが、事業者の高齢化や担い手不足を考えると、技能実習生の労働力に頼らざるを得ない状況はよく認識している。このため、監理団体からの要請があれば、国際交流協会等と協力し、町内のイベント案内や日本語研修、生活マナー研修などを通して、地域とのコミュニケーションが深められるように努めていく。

買い物や余暇活動を支える交通手段については、コミュニティバスを利用しやすくするよう検討する。住居については、空き家対策の観点からも所有者の理解が得られるよう支援する。

吉村

本年度予算で、上埦地区の水仙ランドを核とし越前水仙・絶景・夕日を活かした地区活性化に向けて、委託料が計上されているが、進捗と今後のスケジュールはどうなっているのか。また、計画変更があるのか。更に事業後の支援策も併せて伺う。

町長

委託業務は早急に入札する予定である。設計後は効率的に事業を進めていく。

外国人研修生の受入れについて

また、計画変更の場合はプロジェクト協議会に説明し検討していく。進捗については、関係団体と会議を開催し、平成27年度に向け体験ツアー等の企画をまとめ予算に反映していく。

高齢化が進む中、地域活力が低下することは残念であるので、積極的な支援をしていく。なお、事業を通して周辺地域の活性化と交流の機会を広げる事業を展開していく。

ふるさと創造プロジェクト事業について

平成26年9月定例会 全会一致で可決・承認した議案

議案名	議案名
議案第66号	越前町保育の必要性の認定に関する条例の制定について
議案第67号	越前町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について
議案第68号	越前町家庭の保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について
議案第69号	越前町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について
議案第70号	越前町陶房条例の一部改正について
議案第71号	公の施設の指定管理者の指定について（越前町立陶の谷保育所）
議案第72号	公の施設の指定管理者の指定について（越前町立城崎南保育所）

議案名	議案名
議案第73号	公の施設の指定管理者の指定について（越前町立織田保育所）
議案第74号	公の施設の指定管理者の指定について（道の駅「越前」）
議案第75号	和解及び損害賠償額の決定について
議案第76号	平成26年度越前町一般会計補正予算（第5号）
議案第77号	平成26年度越前町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）
議案第78号	平成26年度越前町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）
議案第79号	平成26年度越前町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）
議案第80号	平成26年度越前町集落排水事業特別会計補正予算（第2号）

凡質問！

町政を問う！

笠原 秀樹 議員



笠原

高齢化が進み増える認知症対策は

福井県で、記憶障害、徘徊、幻覚症状で要介護認定を受けている認知症の人は2万6,000人を超えている。本町の現状と対策はどうなっているか。

町長

全国の65歳以上の高齢者のうち、4人に1人が認知症とその予備軍となり、早急な対策が必要とされている。越前町は、モデル事業の指定を受け、要介護者を除く65歳以上の奇数年齢の対象者に定年認知症検診を実施した。

平成25年度は、対象者1,599人に健康チェックリストを送付し、62%の991人から回答があり、436人に認知機能の低下が疑われ、そのうち114人が医療機関を受診し、21・1%に当たる24人に治療を要する、又は経過観察の結果が出た。

この結果を踏まえ適切な医療や介護のケア、住み慣れた地域で暮らし続けていけるよう、介護保険事業計画の中で、地域の実情に応じた各種事業を検討し、認知症支援員1名を配置したいと考えている。

見守りや支え合いが重要で、ボランティア活動に意欲のある方を対象に、介護予防サポーター養成講座を実施しており、高齢者の健康や身体の変化、高齢者に適したストレッチ体操の習得、認知症について学習している。

また、認知症サポーターの養成講座の一環として、認知症を住民に深く、広く理解してもらうことを目的に、要望のある地区などに出向き、寸劇による認知症予防教室を行っている。今後も認知症の方の見守りや介護予防事業を推進し、温もりと優しさの感じられる認知症予防施策、高齢者施策に取り組んでいく。

青柳 良彦 議員



青柳

まちづくり方針について

昨年9月定例会での「まちづくり方針」についての質問に対して答弁にあった総合的な人口減少対策と定住化の促進策は、効果の兆しを感じられない。
8月1日現在の人口は昨年比419人の減少となっている。
また、町外で家を新築する人も多い現状の対策の具体策を伺う。

町長

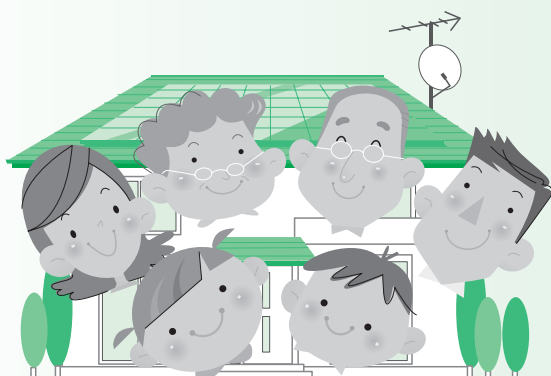
定住促進、雇用の確保、健康・福祉の増進、子育て支援、人材育成といった各種施策を複合的に展開し、生活環境の質的な向上に重点を置いたまちづくりを進めることが人口減少対策と定住化の促進につながると考えている。

近年の町人口は、転入者数の減少、出生数の減少および高齢化の進行に伴う死亡者数の増加により、総じて、人口減少が顕著になっている。

一方、県内市町における人口推移の状況を平成17年からの減少率で見れば、8町中3番目、17市町中では10番目に低い減少率となっており、総合的な施策の推進は一定の効果を得ていると考えている。

現在、定住推進対策のひとつとして、旧朝日中学校跡地において土地区画整理事業による低廉で住みよい環境のもと、若者夫婦が住み続けられる宅地造成を進めている。

人口減少対策を町の最重点課題と位置付け、地方の創生事業など、国や県の事業の有効活用を図り、全庁一体となって総合的に施策を展開し、住みよいまちづくりを推進する中で、若者定住に資する特徴的な制度等も盛り込んで、町の取り組みを情報発信していく。



笠原 秀樹 議員

青柳 良彦 議員

多世帯同居のリフォーム支援事業について

伊部

県と連携して、多世帯同居につながる改修工事等を行う住宅の所有者の方に補助金を交付する支援事業に取り組む考えはないか。

町長

多世帯同居を推進することは、ひとり暮らしの高齢者世帯や空き家防止対策、若年層の流失防止、

海岸環境整備事業について

伊部

高佐・茂原地区において、海岸環境整備事業の一環として、人工海水浴場整備に取り組んでいるが、場内で安心して泳げるよう、南北防波堤を結んだ潜堤の箇所に消波ブロックを積むよう県に要望する気はないか。

伊部

補助事業の採択は、大変困難であると認識している。

南側防波堤と白浜駐車場を埋立てて緑地帯等を計画し、アウトドアを楽しめるような憩いの場を提供できるよう県へ要望する考えはないか。

副町長

平成8年の事業の開始以降事情が変わり、現在の埋め立て区域に変更になった。県との協議の中で先に進まない状況である。多額の費用がかかることも含め協議を重ねていく。



伊部 良美 議員

大規模な工事となるため、地元住民を始め、特に漁業者の理解を得なければならぬ。

福井県と協議を続けているが、現時点では、新規

伊部 良美 議員

1市町1エネおいつく事業について

木村

事業化の取り組み、経過及び進捗状況、今後の課題と取り組みについて伺う。

町長

地域主導型再生可能エネルギー等事業化促進事業で、公共施設の貸与や、エネルギー多角化の定着を図るもので、取り組みとしては、太陽光発電、小水力発電、バイオマス発電、雪氷熱利用の4種類。建設工事が高価、採算性が合わないなどの理由から、企業の誘致に苦慮している。

昨年度、越前町再生可能エネルギー導入推進協議会を組織し、太陽光発電設置者への公共施設屋根貸し事業や公共施設のLED化を検討した結果、屋根貸し事業は、耐震、積雪等の問題や設備投資等、採算ベースに

ふくいのおいつく水について

木村

大谷地区の薬水、平等地区の弘法大師の水の2カ所の観光戦略について、また、周辺の環境整備について伺う。

町長

観光戦略としては、泰澄大師の歴史散策として、現在「越知山泰澄の道」としてハ

合わないとの理由で、提出には至らなかった。

推進協議会で導入可能と判断されたものについて、今後も事業化の検討を継続していきたい。

公共施設のLED化については、事業化を模索中。また、小樟地係に建設したブローホール発電は、10月2日から運転を開始、成功すれば世界初の施設となり、今後の経過に注目していきたい。



ブローホール発電システム

イキングコースを設定している。

また、越前焼の発祥地を生かして、陶器で名水を気楽に飲めるような環境整備、越前焼のPR、弘法大師の水と絡めた越前名水めぐりを検討して、越前町観光連盟のフェイスブック等で発信し、観光誘客に努めたい。

周辺整備としては、平成26年度において、環境ふくいCO₂削減貢献事業で水路の布設替えを予定している。



木村 繁 議員

木村 繁 議員

審査しました の黒字決算(実質収支額)

認定

繰越する額
8万6千円

=

実質収支額
7億1,192万6千円

9月議会定例会で、平成25年度一般会計と9特別会計、2事業会計の決算を審査しました。部門ごとに様々な質問をし審査した結果、全会一致で認定しました。

総務部門

問 ふるさと納税で26件あるが、今後増収への付加価値を付けることの方向性はどうか。

答 納税していただいている方には、町内施設の優待券を贈っている。水仙、記念品を贈る予定をしている。

問 コミュニティバスのほやほや号、デマンドバスはフリーダイヤルで京福バスが受付しているが、役場でもフリーダイヤルで受け付けできないのか。

答 検討したが、フリーダイヤルにすると現在の予約電話番号から変更する必要がある、町民には現在の番号の方が分かりやすいため見合わせた。



民生部門

問 母子家庭等医療費助成で、母子家庭と父子家庭で差があるのはなぜか。

答 かかった医療費の実費分の助成であり、制度の違いではない。

問 出産祝金が5万円では少ないのではないのか。

答 子育て支援については充実していると思うが、金額については今後検討していく。

問 国民健康保険加入者で無受診世帯が196世帯(5%)ある。何らかの形で表彰するようなことができないか。

答 県内で表彰のようなことをしている自治体はないが、長期の無受診者については検討していく。

問 ジェネリック医薬品の利用による削減効果がないようなので、もっとPRしてはどうか。

答 ジェネリック医薬品の利用率が37%と低いので、今後も普及に努めていく。

問 国民健康保険税の収入未済額が約1億2千万。繰越額も減少している。いまのままで、健全に運営していけるのか。

答 国民健康保険税の収入未済額については、今後徴収強化に努

めていく。

一般会計からの繰り入れは法定内であるが、来年度は法定外の繰り入れが発生するので、慎重に運営していきたい。

問 介護保険で住宅改修制度の利用率が低いのはなぜか。

答 制度の周知を再度徹底していく。

問 織田病院でリハビリ室が手狭になっている。施設について隣接する保健福祉センターを絡めた見直しをしようか。

答 織田病院は地域医療の中核であることを前提に考え、病院と共に効率の良い利用を検討していく。



平成25年度
決算審査

町の財政状況を

一般会計 7億1,192万6千円

一般会計

収入総額
136億5,127万円

支出総額
127億7,025万8千円

翌年度に
1億6,90



産業部門

問 観光施設費で公衆トイレを洋式化にする費用が何もないが、今後どう考えているのか。

答 和式トイレでも清潔なら問題がないと考える。観光施設内を調査している。ウォッシュレットの設置を検討していく。

問 越前焼振興について、技術の向上を目指しているのか。一般に広く需要拡大することを目的に考えているのか。

答 後継者の育成や普及向上を考えている。県の職業人育成事業とタイアップして、今後も力を入れていく。

建設部門

問 橋梁長寿化計画策定調査の結果は。

答 まず目視検査を行い、異常があれば打音検査を行い、更に異常があつた場合には詳細な検査を行う。調査の結果50橋が詳細調査の対象となっている。

問 町内の土石流危険区域はどのくらいあるのか。

答 警戒区域が97カ所、特別警戒区域が919カ所。その内、約80%が越前地区である。

問 町営住宅を居住せずに、倉庫代わりに使用していると、近隣の住民から聞いている。何らかの解決策を考えているのか。

答 そういふ情報が入った場合、居住者に事情を聴くことになっている。継続的に調査し対処していく。

問 水道施設が老朽化しており、年間の有収水量率も80%前後だと思つが、目標設定をして漏水箇所の修理等行つてほしい。

答 有収水量率は宮崎地区65%、越前地区86%、織田地区74%、上水道81%、全体で78%。宮崎地区が低いので80%は確保しないといけない。来年から超音波検査

器等を用いた本格的な漏水調査を進めていく。

教育部門

問 要保護等就学援助費の支給に一部不公平感があると聞いている。どういふ条件で決めているのか。

答 所得制限がある。民生委員の意見書も添付してもらっている。

問 学力テストについて、福井県はトップレベルという報道があつた。公表については各自治体の教育委員会の判断と聞いているが、越前町はどうするのか。

答 県平均と比べてどれくらいかということ公表していく。10月にホームページ等で公表する予定。





ボーイスカウト丹生第3団団委員長の 数内正夫さんにお話を伺いました。

◆ **活動をしていますか。**
主な活動は、隊集会として、工作、ゲーム、歌など、手旗信号やロープ結びを通してキャンプ活動、ハイキング、スキー教室などのプログラムを実施しています。

社会奉仕活動として、毎月第一日曜日に町内の空缶やゴミを拾っています。またビール缶もあり、スカウトたちはびっくりしています。

◆ **活動をしていく上でたいへんなことはありますか。**

どこの青少年団体もおなじだと思えますが、少子化によるスカウト人数の減少により班編成ができず班活動が限られていることです。

現在、ボーイスカウト（小6年）が4名、カブスカウト（小3年）が2名、ビーバースカウト（小1年）が5名の男女児童が活動しています。

◆ **どのような方が指導にあたっていますか。**

団委員会メンバーは10名（団委員長4名、隊長3名、副隊長3名）です。各隊長は、ボーイスカウト指導者研修機関で研修を受け、指導者として様々な技能・知識を身につけた方々が指導にあたっています。

職業を持ち、時間を作ってスカウトたちと一緒にボランティアとして活動しています。

◆ **普段はどのような活動をしていますか。**

「ちかい」と「おきて」と、「そなえよつねに」をモットーに野外活動を通して自然を学び、友情や強調の精神を育てることを中心に活動しています。

◆ **活動を通して目指していることは何ですか。**

社会奉仕活動や、自然の中での体験など、学校生活とは違った様々な活動を通して、青少年の健全な心と、心身ともにバランスのとれた人格の形成に貢献したいと、私たちは、強く願っています。

◆ **最後に一言。**

体験入隊はいつでもOKです。スカウト大募集中ですので、興味のある方は、ご連絡をお願いいたします。（体験入隊などの「お問い合わせ」は、☎36-0159丹原まで）ボーイスカウト日本連盟HP (<http://www.scout.or.jp/index.html>) もぜひご覧下さい。



毎月1回のゴミ拾い中です。

12月議会の傍聴をしてみませんか

日程については、議会事務局にお問い合わせください。TEL34-8712

編集後記

越前陶芸まつりに始まり、越前夏まつり、あさひまつり、O・T・A・I・K・O響、「合併10周年」ということで、町民一丸となっていました。

どこの会場も情熱と熱気と越前町の未来を象徴するような女性の意気込みに溢れ、これからの越前町を担う若者にも感動を与えたものかと思えます。

私たち議員も町民の暮らしが「福井県」となることを目指して、精進していききたいと思っています。

（伊部）

議会広報特別委員会

委員長	笠原秀樹
副委員長	伊部良美
委員	吉村春男
	北島忠幸
	青柳良彦
	齋藤稔
	佐々木一郎
	田中太左門

（表紙題字／齋藤委員）

バックナンバーが町のホームページでご覧いただけます

http://www.town.echizen.fukui.jp/webworks/web/info/result.jsp?category_id=187